



大阪部会(第 40 回)

日 時: 2014 年 9 月 20 日(土) 18:00~20:00

場 所: 同志社大学大阪サテライトキャンパス

【内容要旨】 第 40 回の大阪部会の出席者は 9 名。

(1)まず、経済教育ネットワーク野間敏克理事(同志社大学)から最近の活動報告があった。中心的な話題は東京証券取引所と共催の「先生のための夏休み経済教室」の結果報告で、各会場(名古屋、大阪、東京高校、東京中学)の参加者数や内容を、当ネットワークのメールマガジンの記事に沿って振り返った。今年度は、どの会場でも若い教師の参加が目立っており、ネタ作りに直結する授業実践報告、東京で初めて行われた Basic コースなどは、とても役だったとの評価が多かった。中でも、テスト問題の作り方については、新人・ベテランを問わず、中学・高校ともにニーズが高く、次年度も開くべきとの意見があった。また、中学の部で毎年実施されている意見交換会は非常に有意義で好評にも関わらず、参加人数がそれほど多くないことから、もう少し参加を促す方法を考えてはどうかとの意見があった。

(2)続いて、夏の経済教室でも紹介された日本経済教育センターの地理教材(河原和之氏、加藤一誠氏らが作成)に対するアンケート結果が資料として配付され、意見交換が行われた。教材の内容への評価は非常に高く、教室で実践してみたいとの感想が、アンケートでも、また今大阪部会出席者の間でも多かった。ただし、どの時期に、どれだけの内容を取り上げるかという、教科の中での位置づけを懸念する声もあった。

(3)次に、山本雅康氏(奈良学園中学校高等学校)から、ふたつの実践報告があった。①マンションの耐震工事を題材にした公共財ゲーム(日本大学中川雅之氏作成)を使って政府の役割を考える授業、②司法書士を招いて実施された「契約書をつくろう」をテーマとした授業である。①は当ネットワークの活動が始まった頃から、多くの教師が実践し、改善されてきた教材であり、山本氏の実践でも成果があったとのことである。②も、身の回りの様々なところで契約が結ばれていることを知るなど、生徒に驚きを与えながら理解を深めることができた、と報告された。

(4)その他、アベノミクスや消費税増税に関する意見交換を行った。最後に、秋の経済教室として、11月15日に日本大学で開かれる宮尾尊弘氏(南カリフォルニア大学など)の授業予定が紹介された。

(文責 野間敏克)

次回開催予定: 2014 年 11 月 29 日(土)、時間は 18:00~20:00、場所は未定。